

1月23日（金）ロボ・大好き・楽しむ

二年生が国語であつたらいいロボットについて考えていました。「物を無くした時に見つけてくれる」「ペットと話ができる」「料理を作ってくれる」「宿題をやってくれる」などなどのアイデアが出ていました。それを使うとどうなるかを作文するのが学習のねらいです。友達と伝え合うのもねらいのようで、「ほめほめタイム」では、お互いに驚いたり、ほめたりしていました。

一年生の国語では「ぼくがエルフのことを大好きな理由」を学んでいました。文章から「大好き」だと思える箇所を見つけて学び合っていました。エルフという犬が死んでも好きでいるという発言には、涙が出そうになりました。天国へ行った愛犬への言葉も考えて「ありがとう」「ずうつと大好き」「みんな好きだよ」などなど、子供たちの優しさや物語に入り込んでいる姿に感動してしまいました。

国語の授業研究会で、埼玉大学附属小学校の先生にご指導をいただきました。「問い」を生むには、子供の発言を楽しむことというご指導が一番心に響きました。その通りだと思います。子供の言葉を楽しんでいれば、周りの子も関心を持つでしょう。そして、どんどん言葉や考えが生まれてくるでしょう。そして「問い」が生まれ、自走する子が育っていくと感じました。



1月22日（木）たこ・熟語・大切

一年生が生活で作った凧を上げていました。風や子供の走力で高く上がった凧が、青空にはりきって舞っていました。作成の様子を見たことがなかったので、凧に何を書いたかを聞いてみました。自分の名前に加えて、絵や言葉を書いたようです。「出席番号」「誕生日」「2026」などを書いた子がたくさんいました。作品としても、大事にしておいてもらいたいです。

五年生の国語では、特別な読み方をする熟語を集めてい



ました。今の子はすぐにPCで調べるので次々にノート書いていました。「竹刀」「玩具」「山葵」「山車」「心太」「田舎」「蟋蟀」などなど。中には、普通の読み方も分かりそうもない漢字も登場しました。何が特別なのか分からなくなってしまっているのではないかと心配もしてしまいました。何が特別なのか、社会や世界、未来のことにも思いが馳せてしまいました。余談でした。

あるクラスの掲示物に目が止まりました。三学期になって貼り出された物です。先生からの強いメッセージだと思います。子供と一緒に確認したクラスの合言葉なのでしょう。自分も友達も物も大切に生活。自立、貢献探究を目標に掲げる本校の教育方針を具現化してくれていると嬉しくなりました。「大切」、とてもいい言葉です。どのように行動にうつすのかを見守っていきたいです。

1月21日（水）名言・合唱・締め切り

六年生が国語で名言を集めていました。「一番いけないのは、自分なんかダメだと思い込むこと」（のび太）、「あきらめたらそこで、試合終了」（安西先生）、「いつやるか、今でしょ！」（林修）などなど、アニメや著名人の名言と選んだ理由がワークには書いてありました。中には「困ったときはいつでも相談してね」（Yahoo! AI）というのもあり、時代の変化を感じずにはいられませんでした。

二年生のクラスに入ると、音楽朝会で歌う曲をみんなで歌っていました。ある程度見ていて、教室をあとにしようとする、ある子から声がかかりました。「最後まで見ていってよ、校長先生!」。この活動のあとに、三番まで歌うことになっていたようです。嬉しいお誘いに応えて、最後まで聴かせてもらいました。とっても上手でした。

あるクラスに入ると、前面に「締め切り日」が貼ってありました。計算ドリルは2月27日、漢字ドリルは3月6日までに終わらせることになったようです。このような指示を見ると、学年末を感じます。「保護者に買ってもら



った物は、最後までやり切らせる」ことを私たちは共通理解しています。二学期なら「冬休みの宿題」として、一月に確認ができますが、三学期末はそうはいきません。三学期中に「やり切ること」を見届けるのです。

1月21日（水）小中・なわとび・九九

小中連絡会を、扇小学校を会場にして行いました。向原中学校の先生方に扇っ子の姿を見ていただき、分科会に分かれて話し合いをしました。もちろん校長先生にもお越しいただきました。「4月からよろしくお願いします」と、授業中にも関わらずあいさつをしていた子もいます。中学では基本、4人組グループで学習を進めているとのこと。学習の核は、小中を通じて学び合いだと確認しました。

体育朝会では短なわとびに取り組みました。冷たい強風が吹く中で、扇っ子はがんばって負けずに活動しました。なわとび検定の6、7、8級に全員でチャレンジしました。この日は体育の授業でもなわとびに取り組んでいるクラスが多く、検定の技を取得しようとしている子がたくさんいました。一年生では、自分が考えた技を見せてくれる子がいて、自走する姿もありました。

二年生の九九検定も始まりました。この日は、担任から合格をもらった子が二人、校長室にやってきました。例年初日は合格者が出ないのですが、この日は二人とも見事に合格です。九九を暗唱できるだけでなく、フラッシュカードで鍛えられていることが分かりました。九九を乗り越えて百（100点）を目指してもらいたいです。



1月19日（月）44

本日は振替休業日。静かな学校で一日仕事をしましたが、先週までの休日と違うのは防犯カメラが写す映像を見られること。校庭に入ってくる子や、池の近くで何か話



している子がいるのが分かります。11時近くになると数人が昇降口前に集まってゲームをしたり、スマホの画面を見せ合ったりしていました。外で遊ぶには寒かったのでしょうか。六年生の学年コーナーには、卒業までのカウントダウンが登場しました。あと44日。

1月18日（日）からだところの科学

昨日、高橋幸子先生にいただいた「まるっとまなブック」のダイジェスト版を読みました。レベル1～4まで、分かりやすくまとめてあります。レベル1では「みーんなかぞく」「かぞくのやくわり」、「プライベートゾーン」、「ひとのからだはどんなふうにかわっていくのか」、「いきものはどのように誕生するのか」などが、小学生低学年でも分かる言葉、イラストで紹介されています。保護者の方にぜひ読んでもらいたいです。



1月17日（土）講演・参観・化学

土曜参観日。成人教育として、埼玉医科大学の高橋幸子先生にご講演をお願いしました。性の健康教育です。ご家庭でも学校でも話題にしにくい性について、とても分かりやすくお話しいただきました。子供が知りたいと思った時に正しく伝えることの大切さを学びました。ごまかしたり後回しにしたりすると、子供はネットで正しくない情報を得る可能性があることを知りました。子供に信頼される大人の存在が子供を救うことにつながるのです。

たくさんの保護者の方に見ていただき、子供たちは張り切って学習したと思います。保護者の手を借りて学習を進めたり、保護者に考えを聞いてもらったりする場面もたくさん見ました。天気や気候のおかげもあってでしょうか、例年よりたくさんの方々にご来校いただきました。ありがとうございます。

豊岡高校科学部の生徒さんが、特別授業をしてくれま



した。葉っぱの動脈で**標本**を作ったり、**窒素液**を使ってボールや輪ゴムを凍らせたりと、子供たちが驚く実験ばかりを一緒にしてもらいました。液体窒素を**手にかける**実験だけは、遠慮する子も数人いました。参加した子の感想にも「**また**やってもらいたい」という声が多数ありましたので、**第二弾**を考えたいと思います。

1月16日（金）訓練・迷子・聴き上手

避難訓練を実施しました。今回は、子供たちにも職員にも**知らせず**に行いました。**20分休み**に地震発生、理科室から**火**が上がったので、避難するという設定です。多くの子は校庭にいたようです。トイレにいた子、着替えをしていた子もいました。校長室にも数人が来ていました。全員の避難を確認したのは「**避難**しなさい、**以上です**」の指示から**5分33秒**後でした。

一、二年生では「迷子になったらどうするか」について学び合いました。まずは「どこに行くか」。多くの子はお店と言っていました。ではそこで何と言うか。二年生の子は「私は扇小学校の2年生〇〇です。迷子になったので、**学校に電話**してください」と発表しました。「学校が留守番電話になっていたらどうするか」。ある子は「**お母さん**の携帯電話を言う」と発言しましたが、「覚えていない」と言っていました。「**よいこチャイム**を守ること」について先生から話がありましたが、これも訓練の一つです。

発育測定、**四年生**のミニ講座は「**聴き上手**になろう」でした。養護教諭の演技から、子供たちは大事なことに気づいたようです。相手の話をしっかり聴くためには「相手に**体**を向ける」「**笑顔**で聴く」「**頷き**ながら聴く」「**姿勢**よく聴く」「**目**を見る」などを発表していました。避難訓練前の時間でしたので、この日は「きくこと」の大切さについて、しっかり学んだのではないのでしょうか。



1月15日（木）数・幅跳び・カメラ

一年生の算数では、100を越える数を扱うようになります。落ち葉の数を数える活動の前に、子供たちがその枚数を予想しました。「だいたいいくつだと思いますか」と先生が問うと、「70」「130」「80」「100」などと発表が続きました。ある子が「82」と発表すると「99」「113」などと予想の数に一の位が登場してきました。一年生にとっては「だいたいの数（およその数）」というのは難しかったようです。

二年生の体育が砂場で行われていました。砂場には、ワニに、カエル、ウサギ、カンガルーの絵が置かれています。幅跳びの活動が始まるようでした。「ワニまで跳べないと、食べられちゃう」という設定のようです。一番遠い、カンガルーを目指してジャンプするのがめあてです。踏み切って遠くに跳ぶ活動は、簡単ではありません。踏み切り板から大股で何歩も歩いて「カンガルーまで行った！」と喜んでいる子がたくさんいました。

防犯カメラの工事が二日間にわたって行われました。何の工事をしているのか、気になっていた子もたくさんいます。校長室で学校周りの様子がすべて分かるようになりました。録画もされています。想像以上に鮮明に映し出されています。校庭に何が落ちているかまで分かります。施設破壊などの問題行動をする子はいませんが、お菓子のゴミを捨てたり、閉まっている門を越えて侵入したりする人は、このカメラがすべてとらえてくれます。



1月14日（水）生活目標・溶液・笑顔

生活目標朝会がありました。「早く生活のリズムを戻しましょう」という話から始まり、どのようにリズムを整えているか、学び合いの時間がありました。「ゲームの時間を決めている」「布団に入る時間が決まっている」「朝6時に必ず起こされる」などなどの声が聞こえてきました。現



在、子供の生活リズムを乱している筆頭はゲーム、動画だと思います。朝元気に登校してくるためにどうすればいいか、子供自身に考えていてもらいたいです。

五年生の理科で、水に塩を入れて混ぜている活動を見ました。混ぜるためのガラス棒を何回回したかを数えているグループもいれば、混ぜている時間を計っているグループもありました。「165、166・・・」「3分経過」などの声でそれが分かりました。問題は水溶液になったかどうかです。ある子がおもしろいことを言っていました。「どうなったら、溶けたって言えるの?」。すばらしい「?」です。

音楽室の黒板に「扇スタイル」「扇スマイル」が書いてありました。三学期のめあてのようです。「スマイル」は、まゆをあげて、目を大きく開けて、鼻の穴も大きく開けて、口をたてにあける、です。歌だけでなく音読やあいさつ、発表などでも意識してもらいたいと思いました。「扇スマイル」が新たな伝統になるとうれしいです。この時間は四年生が歌っていましたが、みんなスマイルでした。



1月13日（火）学年朝会・PZ・のこ

4年生の学年朝会では「立派な高学年とはどんな人か」について学び合っていました。「走るのが速い人」「話を最後まで聴ける人」「当たり前なことを当たり前に行える人」「任された仕事をしっかりできる人」「低学年に優しい人」などの発表がありました。めざす姿が少しイメージできたのではないのでしょうか。52年目の扇小学校を託せるような5年生になってもらいたいです。



発育測定が始まりました。一年生へのミニ講座は「プライベートゾーン」についてでした。水着で隠された部分と口がそれにあたること、見たり触ったり写真を撮ったりしてはいけないこと、例え大人でもそれは許されないこと、命にかかわる大事な自分だけの場所であることが理由であることなどを、クイズなどを交えながら、養護教諭が話



してくれました。とっても大事な学習です。

図工室では、**電ノコ**（電動で切るノコギリ）の音が響いていました。切る対象は**ダンボール**です。木を切るための練習をしているようです。それでも刃が抜けたり、装着ミスによって止まったりする場面がたくさんありました。毎年この機械を使う子供の「**おっかなびっくり**」の表情は新鮮にうつります。ダンボールなら簡単に切り進められるのですが、堅い木では、どうなるでしょうか。

1月12日（月）成人式

出かけた先でたくさんの成人式出席者を見ました。これから行く人もいたでしょうし、午後は式が終わってどこかへ行く予定の子もいたでしょう。着物やスーツで身を包んでいる晴れ晴れとした表情の若者の姿は、周囲も明るくするものです。私も○十年前を思い出してみました。そんな、若い頃を思い出す映画を観てきました。客席はほとんど同年代でした。



1月11日（日）1111

5日から6日勤務しただけですが、正月休み明けとあってだいぶ休んでいないと錯覚しています。本日はオフ。「1」3つ並ぶ日に、読もうと思っていたある雑誌を明けると「一の四つの意味」という論文がありました。また、ある施設に行くと、ロッカーの鍵番号が「1111」でした。不思議な気持ちになりましたが、「1」「一」を大切にしようと思いました。



1月10日（土）学校評価

昨日の職員会議にて、学校評価（保護者、児童）の結果を共通理解しました。その対策についても協議していくこととなります。ほぼ一日、校長室にてその集計と分析、



今後の対策についてまとめた学校だよりを作成しました。厳しい声もありますが、すべて学校への声援だと私は考えています。その声援を無駄にしたいはいけません。できることはすぐにでも、対応していく思いで、学校だよりを作り上げました。

1月 9日（金）競書会・めあて・給食

体育館には緊張感で、張り詰めた空気が漂っていました。**六年生**が競書会を行っていたのです。誰も声も音も出さない体育館に入っていくのさえ**ためらう**ほどでした。もちろんインタビューなどとてもない雰囲気。感想はすぐーるで送ってもらいました。**HP 五年生・六年生日記**をご覧ください。子供たちの感想を載せました。

学年コーナーや教室等に「三学期のめあて」や「今年の目標」などが貼り出され始めました。**三年生**のめあての中には、めざす自分の姿がたくさんありました。「**忘れ物をしない自分になる**」「**友達に教えられる人になる**」「**恥ずかしがり屋からお別れする**」「**あいさつを元気にできる自分**に変わる」などなど。職員みんなで応援したいです。がんばれ！扇っ子。

給食が始まりました。今日は**七草ごはん**。子供だけでなく職員も給食が始まるのが、本当にうれしいのです。さっそく感想を呼びかけたところ、初日から**50**を超える声が集まりました（すぐーるにて）。野菜がたくさん入っていた**ご飯**がおいしかった、**魚**がパリパリしていて最高だった、トロトロの**スープ**がとってもおいしかったなどなどの感想が寄せられました。子供たちが言ってくれたとおりの、**ごちそう**でした。



1月 8日（木）始業式・登校・配布物

三学期が始まりました。私は3つの**お願い**をしました。「**めあて**を決める」「**いいクラス**にする」「**周りの人を頼る**」



です。代表の子となった三年生は、がんばりたいことを3つ語ってくれました。「漢字」「あいさつ」「自分で考えて行動」です。あるクラスではその後に、先生から「笑う門には福来たる」「諦めなければ何事もウマくいく」などのメッセージを伝えていました。三学期が始まりました。

登校してきた子供たちには、いつもと違う姿がありました。一つは「明けましておめでとうございます」「今年もよろしくお願いします」などの新年のあいさつをしてくれた子がたくさんいたこと。そしてもう一つは、一年生の手を取って歩く班長さんが多くいたこと。不安な気持ちを、このようなあいさつや行動で拭い去ってもらえたのではないのでしょうか。

始業の日とあって、たくさんの物が子供たちに配布されました。その中で子供たちの注目度が高かったのが漢字ドリルです。さっそく名前を書いたり、中を見てどんな漢字が出てくるか確認したりしています。ある子は「あれ、これしかないぞ」「〇個しかない！」と声をあげていました。二学期必死で取り組んだ記憶が残っている子にとっては、物足りないのかもしれません。三学期の短さを物語る場面でした。



1月 7日（水）黒板

ほとんどの職員が出勤し、明日からの準備を進めていました。学年や担当の会議も行われていました。校長室でも、次々に会議や面談、来客対応などがあり、あっという間に夕方になりました。外が暗くなり始めた頃、校内を歩くと各教室には子供たちを迎えるメッセージが書いてありました。時間をかけて、まごころこめて作成したことが伝わってきました。明日、子供たちの元気な笑顔が扇小学校に返ってきます。



1月 6日（火）準備



多くの職員が**新学期**の準備を始めています。注文した**教材**も届き始めました。**学年会**を行っている者もあり、校長室には笑い声が時折届いてきました。本日は**学童保育室**へもあいさつに行きました。たくさんの子が元気そうに私に笑顔であいさつしてくれました。本当に元気そうでした。きっと素敵な冬休みを過ごしたのでしょう。

1月 5日（月）仕事始め

令和8年の仕事始めとなりました。出勤した**職員**と新年のあいさつをしたり、休み中のことを話したりしているとあっという間に時間が過ぎていく気がしました。仕事は**たんまり**あります。あいさつ回り、休み中に来ていたメール等のチェック、学期末に子供たちから集めたワークやアンケートの集計などなど。玄関等の掲示物も**一新**しました。



1月 4日（日）完走

毎年、元旦は新聞を買い込むことにしています。企業が出す**広告**に、時代を象徴するヒントがあると思っていますからです。「大切な本が、一冊あればいい」「本屋さんに行こう」などのキャッチコピーが、今年は気に入りました。今年は**見開き2面**に広告を出す企業が増えた気がしたので、景気も回復するのでしょうか。



1月 3日（土）完走

本日は、山下り、**六区**の応援をしました。昨夜は雪の予想があったので、心配していましたが、走路は凍っていませんでした。チームの目標達成のために、必死で駆け下りてくるランナーのスピードを見て「**転倒**することなく**完全**に走り切ってほしい」と祈るばかりでした。この日のニュース等で、六区で転倒する学生がいなかったことを知



って、ほっとしました。

1月 2日（金）山の神

今年も、この日、箱根に行ってきました。復路のゴール近くで、ランナーを見るためです。ラジオやテレビからは、脅威的な追い上げ、走りが伝えられてきました。私の周りにいた人も「ウソだろ」と口にしていたほど。しばらく音声途絶えていた頃、大きな歓声が聞こえてきて、走ってきたのは、間違いなく「山の神」。20km以上走って、山を登ってきたの快走。学生ランナーからもらえる感動は、毎年大きなものがあります。



1月 1日（木）初日の出

新年、明けましておめでとうございます。

校長になってから、毎年、初日の出は学校の屋上で見ることを続けています。今年是一个のチャレンジとして、五六年生に「一緒に見ませんか」と呼びかけてみました。もちろん保護者の許可を取ってくることを条件に、です。希望者には、参加券を渡しておきました。30枚ほど配布しました。「起きられなかった時は、連絡は不要」と伝えておいたのですが、予想以上に集まってくれました。雲の間から見えた初日の出、今年も感動しました。

